



News Release

08-D-1177
2009年2月5日

学校法人 青山学院 (証券コード: -)
長期優先債務格付据置: 「AA+」 (ダブルAプラス)
格付けの見通し: 「安定的」

株式会社日本格付研究所(JCR)は以下のとおり長期優先債務*の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

* 長期優先債務格付けとは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価(債券の格付け、ローンの格付け等)では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること(上回ること、または下回ること)もあります。

発行体: 学校法人 青山学院

【据置】

(対象)	(格付)	(見通し)
・長期優先債務	AA+	安定的

【格付事由】

- (1) 国内屈指のキリスト教系総合学園。幼稚園から大学院に至るまでキリスト教信仰に基づく建学の精神を浸透させた教育・研究を進める。現在、06年策定の「アカデミック・グランドデザイン」を含めた各種取り組みの具体化に向けて、法人執行部主導の下、各設置校や事務局に174項目の課題を設定し、組織的なPDCAサイクルの確立を進めている。
- (2) 少子化の進行が続き、大都市の総合学園への志願者が集中する傾向が強まりつつあるが、本学院においても各設置校の生徒・学生の確保を安定的かつ高水準に維持している。一方、競争的資金の獲得に向けた学内インフラの整備を進め、研究面での資金獲得実績も上がっているほか、地の利を活かした収益事業の展開にも積極的である等、高いキャッシュ・フローの創出基盤をより強固なものにしている。
- (3) 現在「アカデミック・グランドデザイン」の実現に向けて青山キャンパスの再開発を進めるが、既存キャンパス内での新改築のため、長期に亘り順次進められる計画である。2014年度までの第一次再開発の所要資金は、既存の引当特定資産と安定したキャッシュ・フローの蓄積によって充当される予定である。現下の金融システムの混乱による証券市況の悪化影響を受け、一部保有資産の評価損が計上される可能性があるが、法人財務に与えるインパクトは限定的である。また、再開発計画への支障はなく、今後の財務リスクの拡大懸念も小さいものと見られる。
- (4) 受験生・卒業生等からの厚い支持を受けつつも、社会のニーズに対応すべく大学での積極的な新学部の新設や改組再編を続ける。2012年4月には人文・社会科学系学部の就学を青山キャンパスに集約することが決定しており、これにより青山キャンパスの地理的優位性がさらに発揮されるであろう。また、青山・相模原キャンパスの特性が明確になることで、学生確保の基盤が一段と充実するものと見られる。格付けの見通しは安定的であり、引き続き「アカデミック・グランドデザイン」の進展により、総合学園としての基盤の充実動向に注目していく。

以上

(チーフ・アナリスト 吉田法男 チーフ・アナリスト 殿村成信)

本件格付けを行うにあたり適用した主要な格付け手法は弊社のウェブサイト(<http://www.jcr.co.jp>)に「学校法人格付けの手法」として掲載されております。格付け手法は追加・変更されることもありますが、その場合は、時系列的に掲載します。本リリースの公表日と格付け手法の公表日(各手法が有効となった日)とを照らし合わせた上で、上記格付け手法をご参照ください。

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル
<http://www.jcr.co.jp>

＜情報提供電子メディア(検索コード)＞

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)
QUICK (和文: QR / 英文: QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

＜お問い合わせ先＞

情報・研修部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026